スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【福井県美浜町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	福井県美浜町
担当課名	美浜町教育委員会事務局　教育総務課
電話番号	0770-32-6708

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	8,838人	部活動数	10部活
公立中学校数	1校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置なし
公立中学校生徒数	199人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定なし

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

美浜町では中学校１校体制で、以下の部活動がそれぞれに活動している。
【運動部】
陸上部、ボート部、男女ソフトテニス部、男女卓球部、野球部、女子バレーボール部
・男女卓球部については、部活動指導員を配置。
・男女ソフトテニス部については、地域指導員。
【文化部】
吹奏楽部、美術部

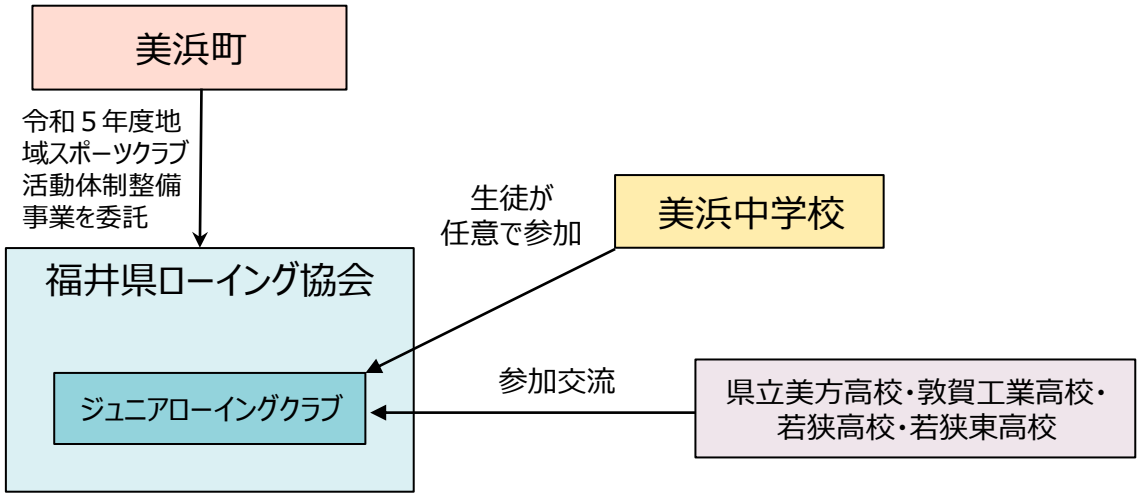
この中でも、ボート部は、ボート競技が昭和43年の1巡目国体開催を契機として、半世紀以上にわたって取り組んでいる中で、競技力向上と競技人口の拡大を目的に創設されたものである。
近年、少子化による競技人口の減少や指導者の確保が課題となっており、福井県ローイング協会が、先頭に立って「ジュニアローイングクラブ」を立ち上げ、選手育成を図るとともに、拠点校における休日の地域におけるスポーツ活動の実践をとおして、持続可能な運動部活動の在り方を検討してきた。
一方、その他の部活動についても、同じ課題を抱える中で、受け皿となるクラブチームが設立される動きが見られ、町としても地域移行の着実な進展を図るため、次年度以降も協議・検討を重ねていく予定である。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● **教育委員会**（教育総務課・生涯学習推進課）
教育総務課　　：実証事業担当課
生涯学習推進課：スポーツ振興担当課

年間の事業スケジュール

時期		計画事項		備考
4月	2回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
5月	2回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
5　20	土	保護者説明会	県立艇庫	
6月	4回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
6　25	日	津幡レガッタ出場	津幡漕艇場	
7月	3回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
7　2	日	タレント発掘事業	県営体育館	
7月	2回	強化練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
7　22 23	土日	全日本中学選手権競漕大会	久々子湖漕艇場	
8月	3回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
8　11	金	体験事業	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
9月	3回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
10月	3回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
10　9	月	体験事業	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
10　14	土	全国中学校新人ボート大会	川辺漕艇場	
11月	3回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
12月	4回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
1月	4回	練習	県立艇庫・久々子湖漕艇場	
2　10	土	県外合同練習会	琵琶湖漕艇場・瀬田川	

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ローイング競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	美浜中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	１部活
地域クラブ活動で実施した種目	ローイング競技
運営主体名	ジュニアローイングクラブ
運営類型	競技団体運営型
１か月あたりの平均的な活動回数	ローイング：月３回程度
指導者の主な属性	競技及び指導経験者
活動場所	福井県立久々子湖漕艇場
主な移動手段	保護者自家用車による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	ローイング：3,000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,545円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

クラブ職位	福井県ローイング協会職位
代表	理事長
副代表	事務局長
事務局長	事務局次長
オブザーバー	強化部長（U２３統括コーチ）
	強化部副部長（日本ローイング協会タレントマネージャー）
	普及部長（タレント発掘担当）
チーフコーチ	３名（全国大会優勝：日本代表経験者）
サポートコーチ	２名（全国大会優勝：中学校部活動顧問）

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	担当部局と福井県ローイング協会が連携を図りながら、実証に臨む。
取組の成果	・この事業も3年目を迎え、担当部局と福井県ローイング協会との連携がなされ、実証事業についても円滑に取り組むことができた。 ・クラブ設立から3年が経ち、保護者からは、送迎、月謝、活動について理解が得られている。 ・充実した指導体制をとっており、生徒からの満足度も高い。 ・指導者もやりがいを感じており、地域貢献や生徒の成長に喜びを感じている。
特に工夫した事項	・新しくクラブに加入した生徒・保護者への活動に対する理解を早い段階で深めることに努めた。
今後の課題と対応方針	・引き続き、新１年生保護者への理解促進 ・活動日数の増加による指導員の確保 ・公的補助金の検討（他の部活動も含めて）

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	町技であるボート競技を対象としており、受け皿となっていただく福井県ローイング協会から公認コーチの資格を有した複数名の指導者を配置し、指導の質の保証を図る。
取組の成果	・現行５名の指導者については、全国大会優勝経験を有する高いスキルを持った指導者ばかりであり、保護者からもレベルの高い指導力について、評価いただいている。
特に工夫した事項	・高校ボート部顧問とも常に交流を持つ中で、互いに研鑽し、スキル・メゾットの共有に努めている。
今後の課題と対応方針	・今後も引き続き、競技経験者はもとより、全国大会優勝経験を持つ指導者の確保と充実を図る必要がある。 ・女性指導員の確保を図る必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項	既に美浜町、美浜中学校、福井県ボート協会は連携をとっている中で、更に情報共有を図り、連携強化に努める。
取組の成果	・ボート顧問が、クラブ指導員として役割を担う中で、美浜中ボート部とジュニアローイングクラブの情報共有、指導理念の共有推進が図れた。
特に工夫した事項	・ボート顧問、高校教員、企業ボート部OBがクラブ指導員を務める中で、互いに指導理念、指導方法について、共通認識を持ち、高校顧問との連携に取り組んだ。
今後の課題と対応方針	・中学校と高校の一貫した指導体制の構築と指導理念の共有推進をさらに強化する必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項	クラブでは、県内全域の選手を受入れ対象としていることを踏まえ、町外選手と一緒に活動することで、部活動の枠をこえた交流を図る。
取組の成果	・県外合同練習会を行うことにより、部活動の枠を越えた交流が図れた。 ・毎年３月に実施している「全中選抜ローイング大会」においても、大会終了後に他県選手との交流レースを行う中で、互いの技量向上につながっている。
特に工夫した事項	・競技艇の制作企業を訪れ、競技艇の制作工程、制作の思いを学ぶことにより、競技に注力する上で、自ら使用する競技艇を大切にする心を学ばせることができた。
今後の課題と対応方針	・次年度以降も、こういった取り組みを進めていく中で、スポーツ留学選手の確保につなげるとともに、「ボート王国福井」の競技力向上と裾野拡大に取り組んで行く必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項	専門的な指導者の配置により、レベルの高い指導を行う。また、ボート競技以外のトレーニング（登山、トレイルラン、メンタル研修）等を取り入れ通常部活動ではできない活動をすることで内容の充実を図る。
取組の成果	・陸上部が行うようなトレーニングやトレイルランを取り入れ、持久力の強化に繋がった。
特に工夫した事項	・ローイング競技以外の競技練習を取り入れ、持久力、忍耐力、メンタルの強さを学んでもらう取り組みを行った。
今後の課題と対応方針	・引き続き、このようなトレーニングを取り入れることにより、基礎体力の向上を図る必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項	補助金の活用により保護者負担を軽減する。
取組の成果	・月額3,000円の運営費について、保護者からの理解を得ることが出来た。
特に工夫した事項	・将来的に自主運営を可能にするための経費と受益者負担の金額の算出に努めている。
今後の課題と対応方針	・国庫委託金等の活用を踏まえ、支援制度の整備や施設利用の面でも優遇措置を検討していく必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項	冬期のトレーニングにおける、学校施設の活用。
取組の成果	・ローイング競技については、湖上での練習が前提であり、冬季間における学校活用について、他の部活動とも調整しながら、校舎を活用したトレーニングを行うことにより、基礎体力の向上が図れた。
特に工夫した事項	・学校施設を活用するため、学校との連携に努めた。
今後の課題と対応方針	引き続き、他の部活動とも連携しながら、冬季間での学校活用に取り組んで行くとともに、他の体育施設の活用についても検討していく必要がある。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）


湖上練習



通常練習の模様



室内練習







トレイルランによる練習

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和３年	令和４年～５年		令和６年～7年		令和８年
モデルクラブ指定	活動支援 連携強化	実証事業継続	生徒、保護者への 説明、受け皿選定	検討委員会設置 地域クラブ活動の拡大	地域クラブ活動の 拡大

●福井県ローイング協会が主体となって、国・県・町の支援を 受けて始動。

●国が示す中学校の地域部活動の地域移行と、同協会が抱える競技人口減少と指導者の確保の課題が合致し、モデルクラブの指定を受ける。

●課題としては、保護者の理解、校区外からの人材確保

●実施内容
・月１回の練習
・大会参加
・トップレベル（全国大会優勝経験者）の指導体制の構築

●引き続き、福井県ローイング協会が主体 となって、国・県・町の支援により活動。

●前年度の活動を踏まえ、改善点のブラッシュアップとＰＲ活動を継続。

●課題としても、新１年生保護者への理解促進、校区外からの人材確保。

●実施内容
・月２回の練習
・大会参加
・トップレベル（全国大会優勝経験者）の指導体制の構築

●このジュニアスリートクラブをモデルクラブとして、検討委員会（仮称）を立ち上げ、受け皿選定に取り組み、令和８年度からの移行に向けて取り組む。

●他の競技においても、受け皿と成りうる団体が育ちつつある中で、協議を進め、選定につなげていく。

●課題　①団体競技における広域連携
※近隣市町との連携
②施設利用等の支援制度、補助制度の確立

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
美浜町 教育委員会		検討委員会（仮称）の立ち上げ、 移行体制の検討 受け皿団体の選定		休日の運動部活動の完全地域移行
福井県 ローイング協会	活動継続・段階的に体制強化			
美浜中学校	土日部活動の段階的な削減 保護者・生徒説明の充実 広域連携の検討			